

古河市立小中学校適正規模・適正配置等審議会 第4回会議 議事録

日 時	令和4年11月29日（火）午後2時から午後3時20分														
場 所	古河市役所 古河庁舎3階 全員協議会室														
出 席 者	会長 馬渡 剛 副会長 大里 充孝 委員 小嶋 洋平 委員 小泉 俊行 委員 蛭田 裕 委員 青木 加代子 委員 小川 久雄 委員 大川原 公雄 委員 梅津 信男 委員 羽兼 邦夫 委員 尾花 潔 委員 佐藤 隆之 委員 勝 文雄 委員 竹村 靖 委員 田神 昭														
欠 席 者	委員 青木 渉 委員 岩淵 尚														
事 務 局	教育部 部長 田中 秀明 副部長 島村 光昭 教育総務課 課長 大澤 勝彦 課長補佐 磯 典子 係長 内田 哲														
議 題	(1) 古河市立小中学校の適正配置について ～将来の子どもたちに必要な学校数について～														
議 事	(1) 古河市立小中学校の適正配置について ～将来の子どもたちに必要な学校数について～  ・将来の子どもたちに必要な学校数の方向性について、小学校は4つのエリア、中学校は3つのエリアで審議を行った。審議結果は下表のとおり。  小学校 <table border="1" data-bbox="427 1361 1382 1805"> <thead> <tr> <th>エリア</th> <th>対象校</th> <th>方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>西部</td> <td>古河第一小学校、古河第二小学校、古河第三小学校、古河第四小学校、古河第五小学校、古河第六小学校、古河第七小学校、上辺見小学校、下辺見小学校</td> <td rowspan="3">減少</td> </tr> <tr> <td>北部</td> <td>小堤小学校、上大野小学校、西牛谷小学校、諸川小学校、大和田小学校、駒込小学校、仁連小学校</td> </tr> <tr> <td>南部</td> <td>釈迦小学校、下大野小学校、駒羽根小学校、水海小学校、中央小学校</td> </tr> <tr> <td>東部</td> <td>八俣小学校、名崎小学校</td> <td>現状維持</td> </tr> </tbody> </table> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西部エリアにおいては、一部の学校で学校規模が小規模化しており、また学校施設の老朽化等を考慮すると、通学区域の再編や学校の統廃合等を進めるなどして学校数を減少させる必要がある。</li> </ul>		エリア	対象校	方向性	西部	古河第一小学校、古河第二小学校、古河第三小学校、古河第四小学校、古河第五小学校、古河第六小学校、古河第七小学校、上辺見小学校、下辺見小学校	減少	北部	小堤小学校、上大野小学校、西牛谷小学校、諸川小学校、大和田小学校、駒込小学校、仁連小学校	南部	釈迦小学校、下大野小学校、駒羽根小学校、水海小学校、中央小学校	東部	八俣小学校、名崎小学校	現状維持
エリア	対象校	方向性													
西部	古河第一小学校、古河第二小学校、古河第三小学校、古河第四小学校、古河第五小学校、古河第六小学校、古河第七小学校、上辺見小学校、下辺見小学校	減少													
北部	小堤小学校、上大野小学校、西牛谷小学校、諸川小学校、大和田小学校、駒込小学校、仁連小学校														
南部	釈迦小学校、下大野小学校、駒羽根小学校、水海小学校、中央小学校														
東部	八俣小学校、名崎小学校	現状維持													

- ・北部、南部エリアでは、学校規模は減少傾向にあり、また学校施設の老朽化等を考慮すると、通学区域の再編や学校の統廃合等を進め、学校数を減少させる必要がある。
- ・東部エリアでは、学校規模は減少傾向にあるが、通学距離及び通学時間のバランスを考慮すると、学校数は現状を維持することが望ましいと考える。
- ・通学区域の再編や学校の統廃合等については、隣接の学校を含めて検討する必要がある。また、通学距離が広範囲になってしまう場合には、遠距離支援バスの活用を検討すること。
- ・統廃合を進める上では、新たな学校を建てる必要があるのではないか。

中学校

エリア	対象校	方向性
古河	古河第一中学校、古河第二中学校、古河第三中学校	現状維持
総和	総和中学校、総和北中学校、総和南中学校	減少
三和	三和中学校、三和北中学校、三和東中学校	

【主な意見】

- ・古河エリアでは、学校規模は減少傾向にあるものの、当面の間、古河市が適正と考える学校規模を維持できると考えられるため、学校数は現状を維持することが望ましいと考える。
- ・総和、三和エリアでは、学校規模は減少傾向にあり、また学校施設の老朽化等を考慮すると、通学区域の再編や学校の統廃合等を進め、学校数を減少させる必要がある。
- ・通学区域の再編や学校の統廃合等については、隣接の学校を含めて検討する必要がある。
- ・統廃合を進める上では、新たな学校を建てる必要があるのではないか。

備 考